

<集計分析結果>

(単純集計版)

在宅介護実態調査の集計結果

～第 10 期介護保険事業計画の策定に向けて～

令和 8 年 3 月

<伊万里市>

1. 調査の目的

令和 8 年度に介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画を見直すにあたり, 既存データでは把握困難な生活の状況や社会参加, 今後の生活について御意見, 潜在的なニーズ(サービスの利用意向・高齢者福祉に関する意識等), 高齢者のおかれた環境やその他の事情等を調査・分析し, 計画の基礎資料とすることを目的としている。

2. 調査票の配布回収状況

調査票種類別の配布回収の状況については, 以下のとおりである。

	在宅介護実態調査
配布方法 回収方法	訪問による配布回収等
抽出方法	在宅で生活されている要介護(要支援)者の中から 無作為抽出
配布数	1,073 件
有効回答数	901 件
有効回答率	84.0%

3. 調査結果利用上の注意

- 回答率は百分比の小数第2位を四捨五入しているので, 合計が 100%にならない場合がある。
- 2つ以上の回答を要する(複数回答)質問の場合, その回答比率の合計は原則として 100%を超える。
- 数表・図表中の空欄は, 該当する選択肢の回答がないことを示す。
- 数表・図表は, スペースの都合上, 文言を省略している場合がある。

目次

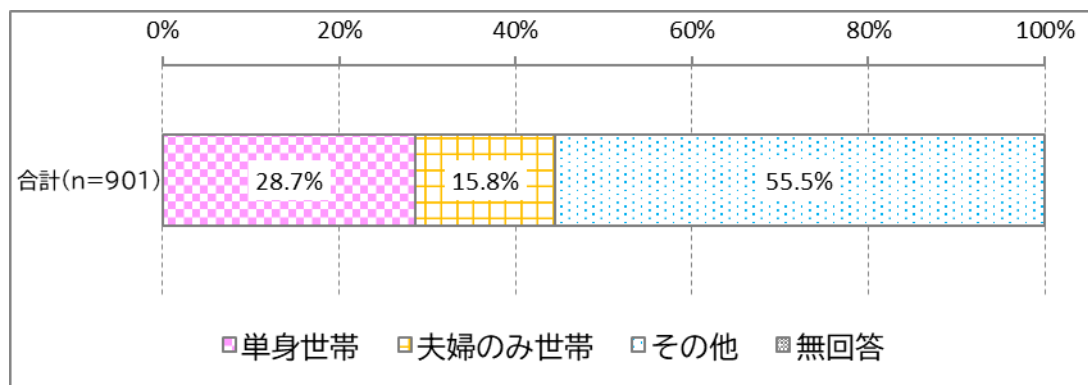
1 基本調査項目(A票)	3
(1) 世帯類型	3
(2) 家族等による介護の頻度	3
(3) 主な介護者の本人との関係	4
(4) 主な介護者の性別	4
(5) 主な介護者の年齢	5
(6) 主な介護者が行っている介護	5
(7) 介護のための離職の有無	6
(8) 保険外の支援・サービスの利用状況	6
(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス	7
(10) 施設等検討の状況	7
(11) 本人が抱えている傷病	8
(12) 訪問診療の利用の有無	9
(13) 介護保険サービスの利用の有無	9
(14) 介護保険サービス未利用の理由	10
2 主な介護者様用の調査項目(B票)	11
(1) 主な介護者の勤務形態 7	11
(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況	11
(3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援	12
(4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識	13
(5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護	13
3 災害時や情報収集に関する質問項目(C票)	14
(1) 火災等が起きた場合、どのように避難しますか	14
(2) 台風が近づいてきた場合、どのように対応しますか	14
(3) 台風などの災害で、避難が必要な場合どこに避難しますか	15
(4) 台風などの災害で、避難が必要な場合どこに避難しますか	15
(5) 市・町等の高齢者向けサービスの情報をどの方法で知りますか	16
4 要介護認定データ	17
(1) 年齢	17
(2) 性別	17
(3) 二次判定結果(要介護度)	18
(4) サービス利用の組み合わせ	18
(5) 訪問系サービスの合計利用回数	19
(6) 通所系サービスの合計利用回数	19
(7) 短期系サービスの合計利用回数	20
(8) 障害高齢者の日常生活自立度	20
(9) 認知症高齢者の日常生活自立度	21

1 基本調査項目(A票)

(1) 世帯類型

「その他」の割合が最も高く 55.5%となっている。次いで、「単身世帯(28.7%)」、「夫婦のみ世帯(15.8%)」となっている。

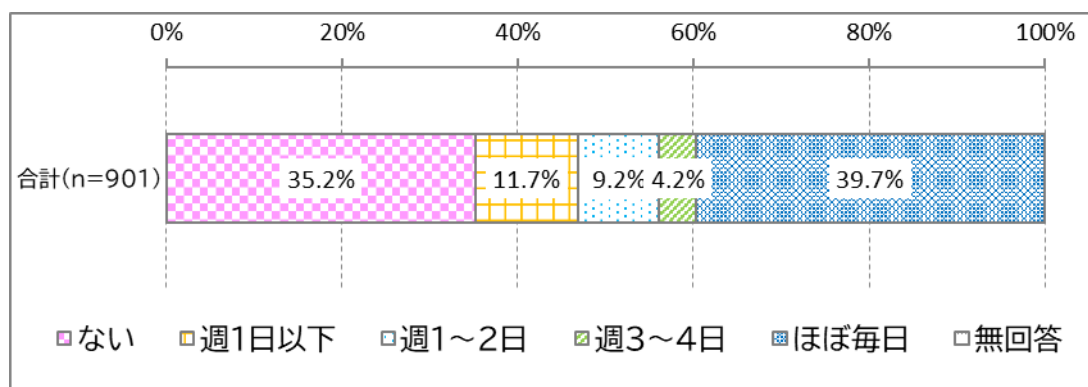
図表 1-1 世帯類型(単数回答)



(2) 家族等による介護の頻度

「ほぼ毎日」の割合が最も高く 39.7%となっている。次いで、「ない(35.2%)」、「週1日以下(11.7%)」となっている。

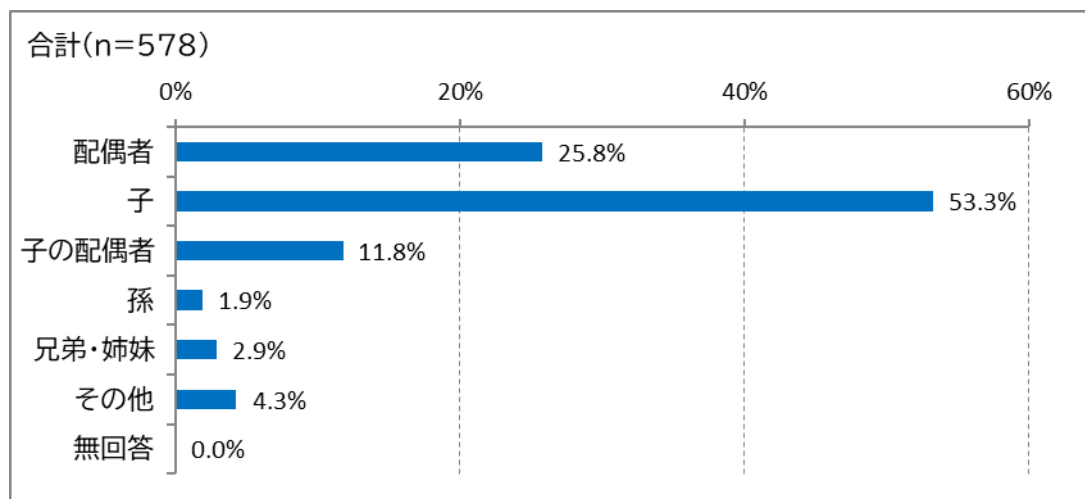
図表 1-2 家族等による介護の頻度(単数回答)



(3) 主な介護者の本人との関係

「子」の割合が最も高く 53.3%となっている。次いで、「配偶者(25.8%)」、「子の配偶者(11.8%)」となっている。

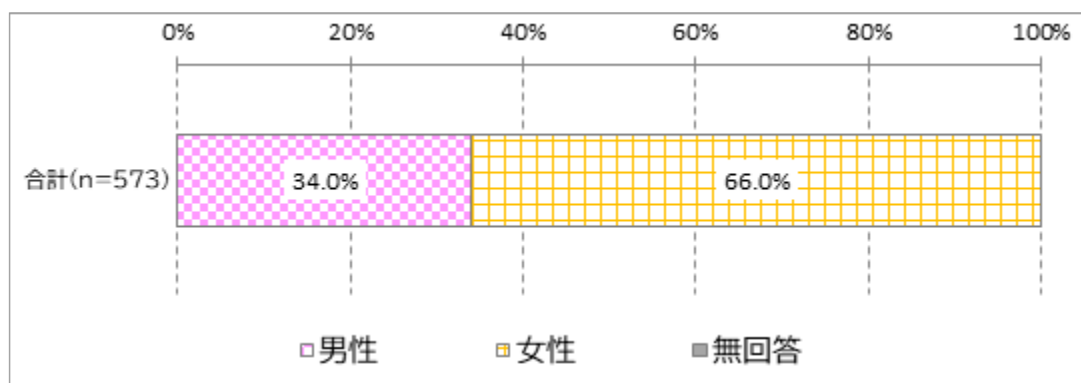
図表 1-3 ★主な介護者の本人との関係(単数回答)



(4) 主な介護者の性別

「女性」の割合が最も高く 66.0%となっている。次いで、「男性(34.0%)」となっている。

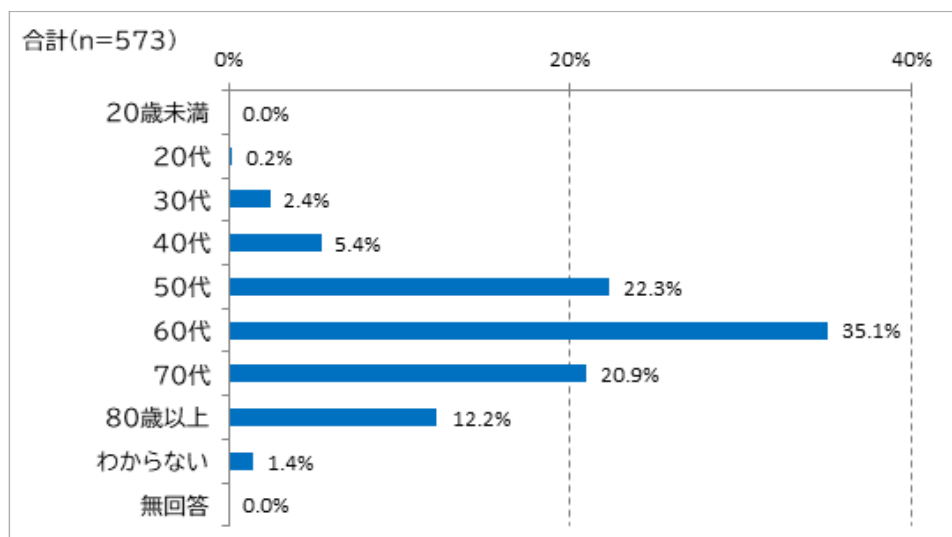
図表 1-4 ★主な介護者の性別(単数回答)



(5) 主な介護者の年齢

「60代」の割合が最も高く 35.1%となっている。次いで、「50代(22.3%)」、「70代(20.9%)」となっている。

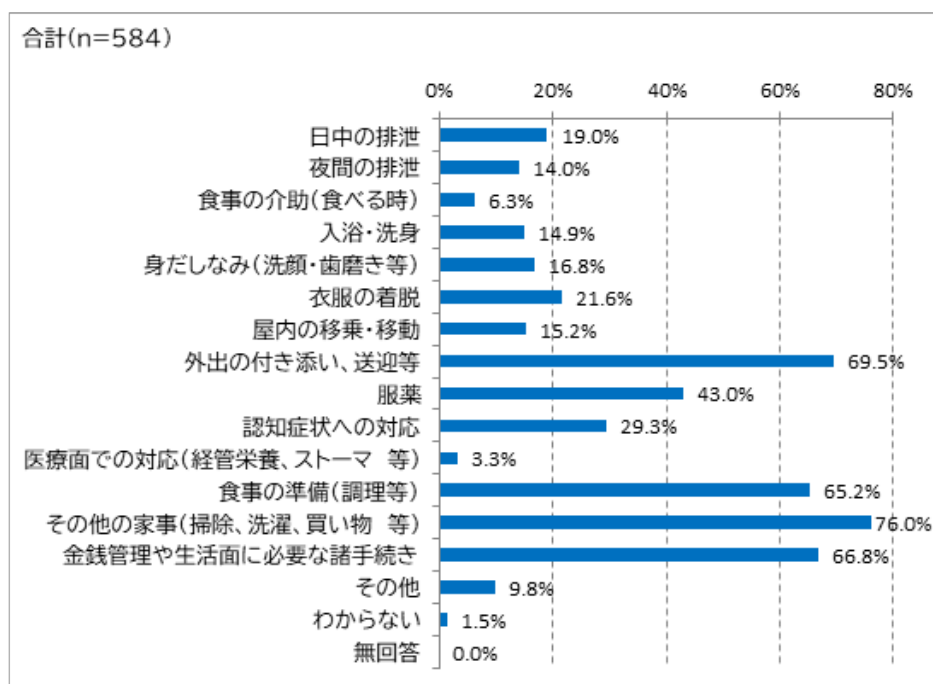
図表 1-5 主な介護者の年齢(単数回答)



(6) 主な介護者が行っている介護

「その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等)」の割合が最も高く 76.0%となっている。次いで、「外出の付き添い、送迎等(69.5%)」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き(66.8%)」となっている。

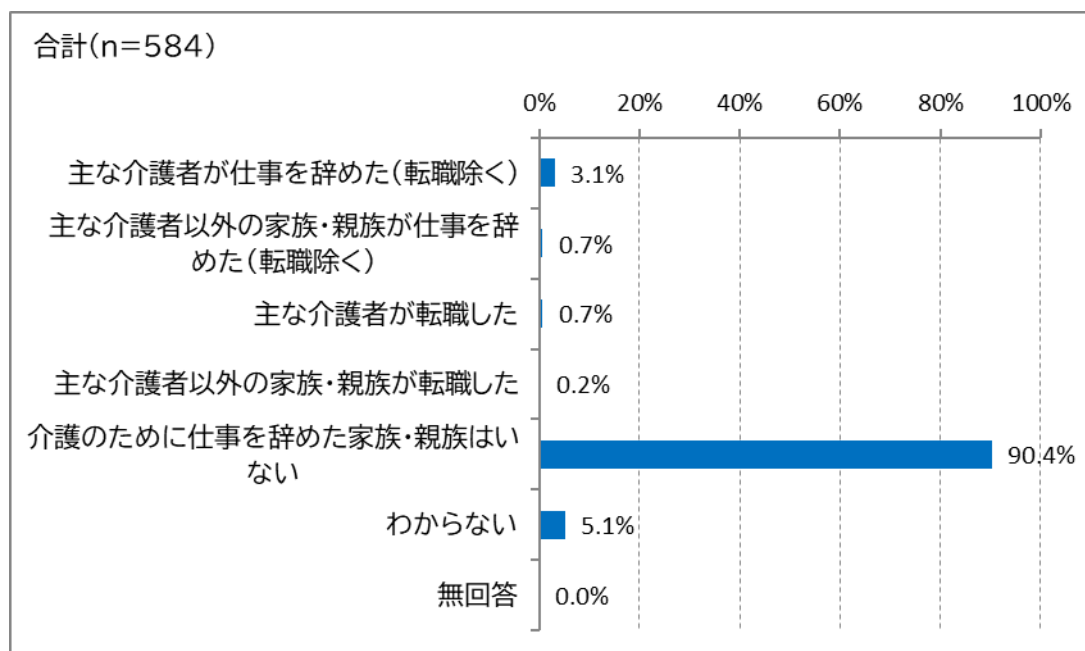
図表 1-6 ★主な介護者が行っている介護(複数回答)



(7) 介護のための離職の有無

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高く 90.4%となっている。次いで、「わからない(5.1%)」、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)(3.1%)」となっている。

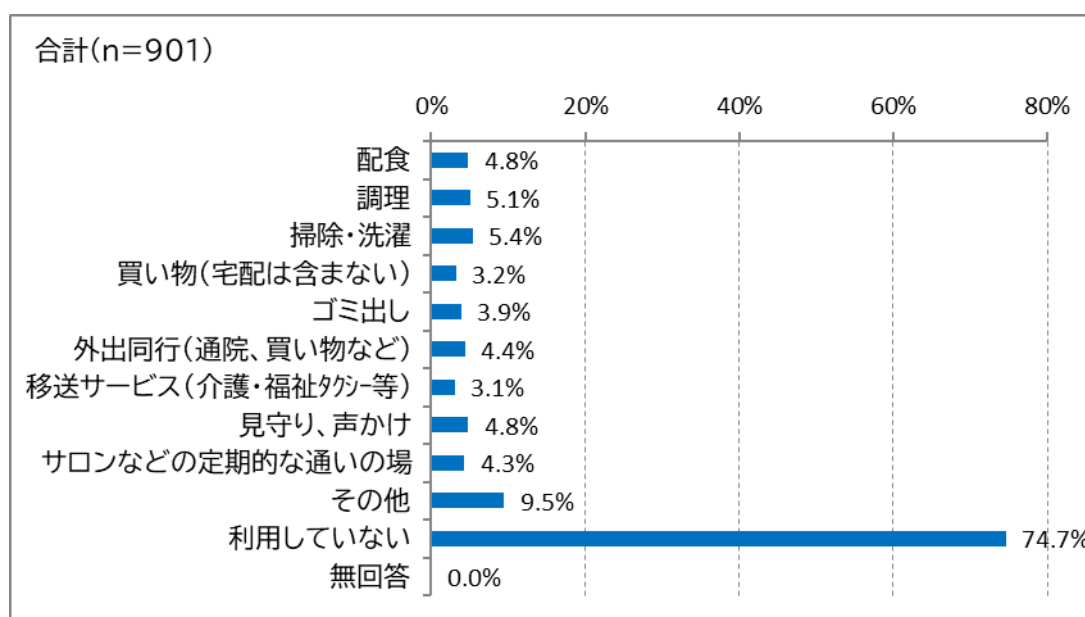
図表 1-7 介護のための離職の有無(複数回答)



(8) 保険外の支援・サービスの利用状況

「利用していない」の割合が最も高く 74.7%となっている。次いで、「その他(9.5%)」、「掃除・洗濯(5.4%)」となっている。

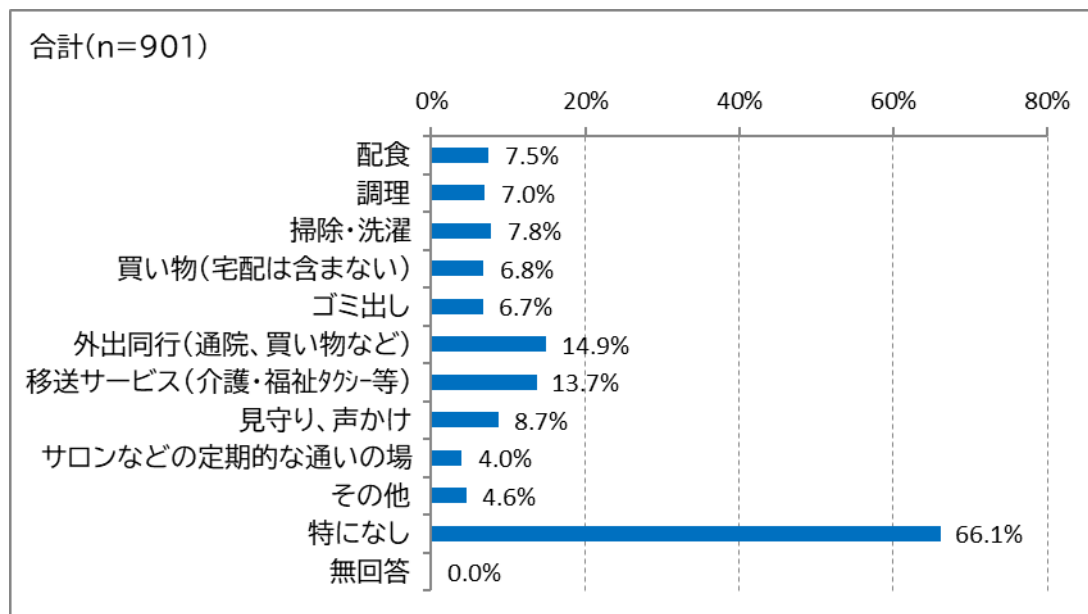
図表 1-8 ★保険外の支援・サービスの利用状況(複数回答)



(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

「特になし」の割合が最も高く 66.1%となっている。次いで、「外出同行(通院、買い物など) (14.9%)」、「移送サービス(介護・福祉タクシー等) (13.7%)」となっている。

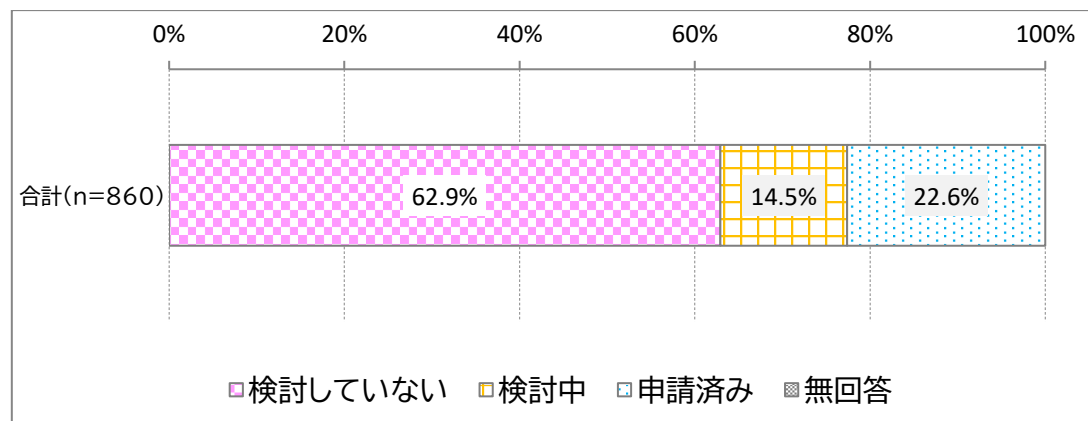
図表 1-9 ★在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス(複数回答)



(10) 施設等検討の状況

「検討していない」の割合が最も高く 62.9%となっている。次いで、「申請済み(22.6%)」、「検討中(14.5%)」となっている。

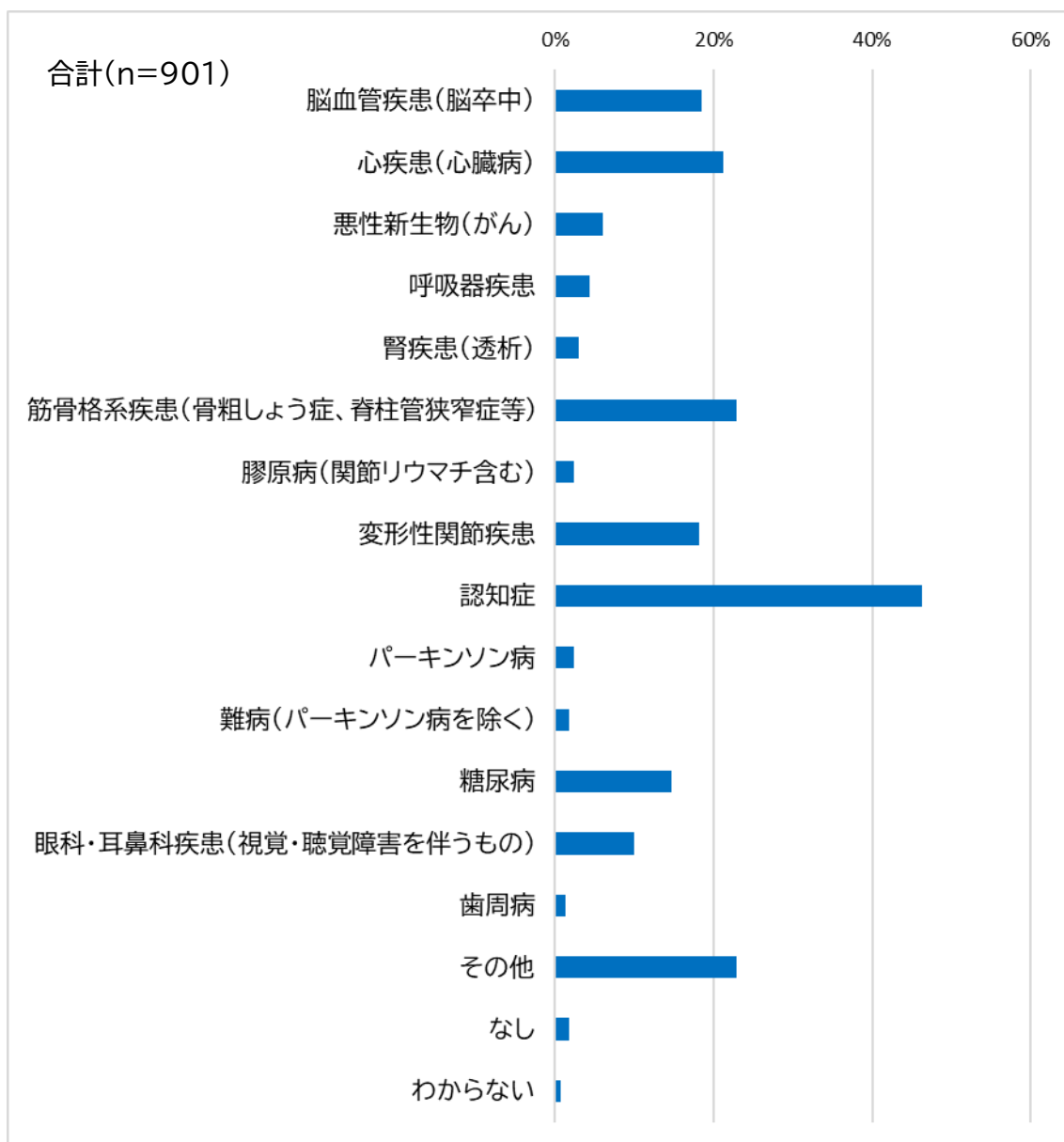
図表 1-10 施設等検討の状況(単数回答)



(11) 本人が抱えている傷病

「認知症」の割合が最も高く46.3%となっている。次いで、「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)(23.0%)」、「その他(22.9%)」となっている。

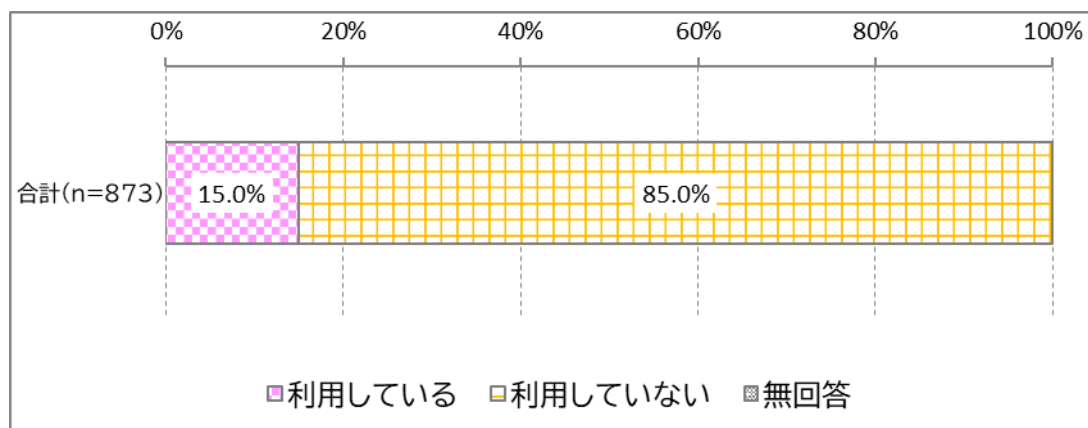
図表 1-11 ★本人が抱えている傷病(複数回答)



(12) 訪問診療の利用の有無

「利用していない」の割合が最も高く 85.0%となっている。次いで、「利用している(15.0%)」となっている。

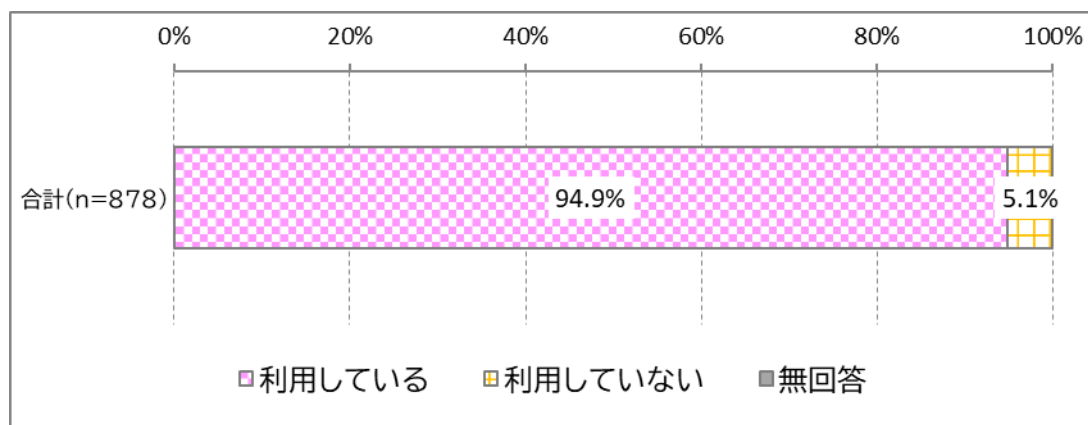
図表 1-12 ★訪問診療の利用の有無(単数回答)



(13) 介護保険サービスの利用の有無

「利用している」の割合が最も高く 94.9%となっている。次いで、「利用していない(5.1%)」となっている。

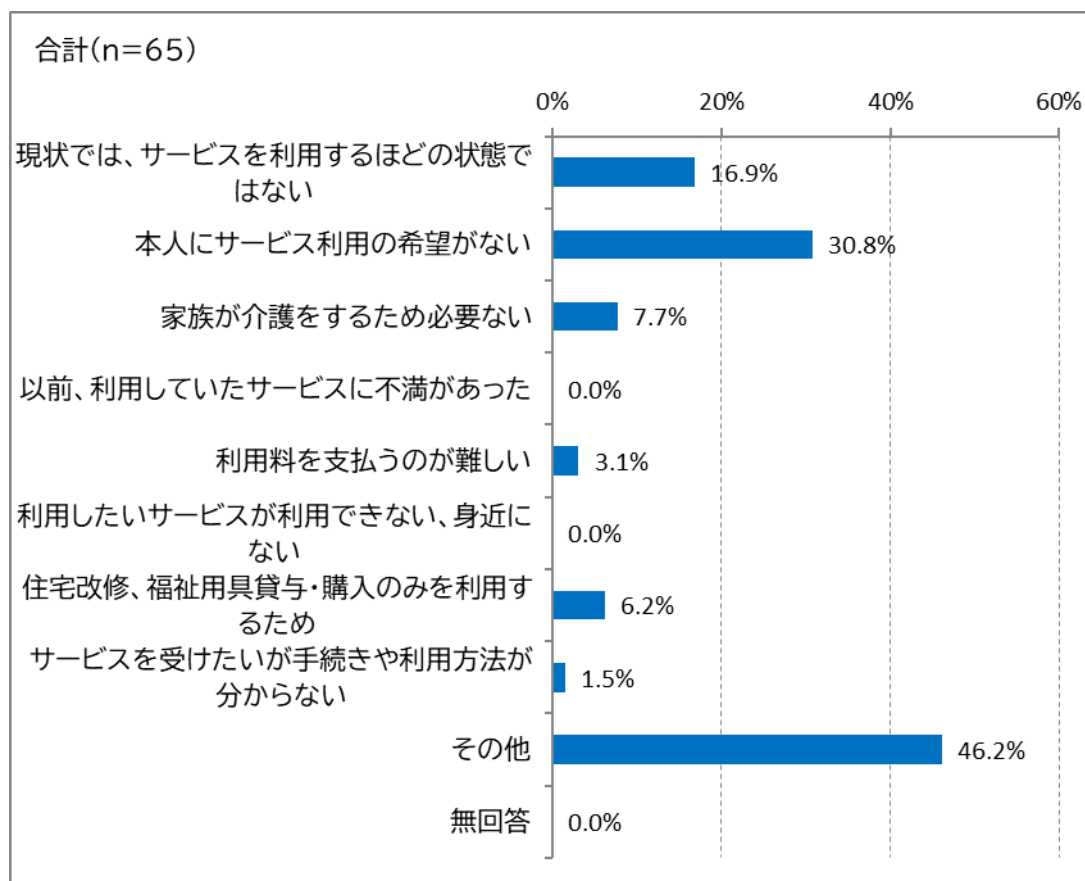
図表 1-13 ★介護保険サービスの利用の有無(単数回答)



(14) 介護保険サービス未利用の理由

「その他」の割合が最も高く 46.2%となっている。次いで、「本人にサービス利用の希望がない(30.8%)」、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない(16.9%)」となっている。

図表 1-14 ★介護保険サービスの未利用の理由(複数回答)

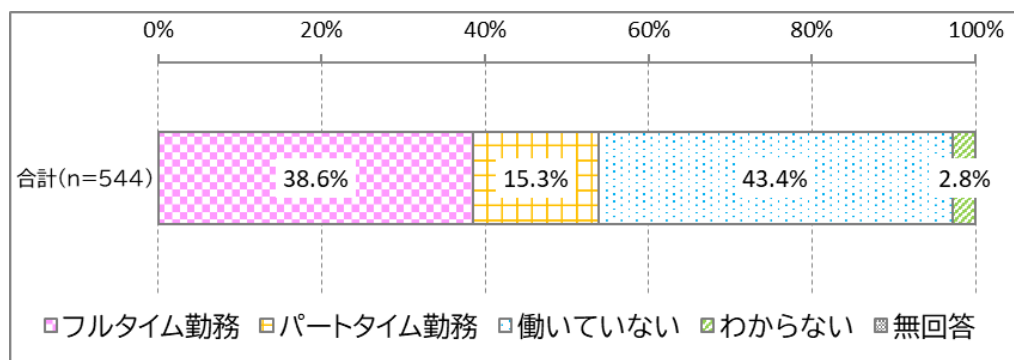


2 主な介護者様用の調査項目(B票)

(1) 主な介護者の勤務形態 7

「働いていない」の割合が最も高く 43.4%となっている。次いで、「フルタイム勤務(38.6%)」、「パートタイム勤務(15.3%)」となっている。

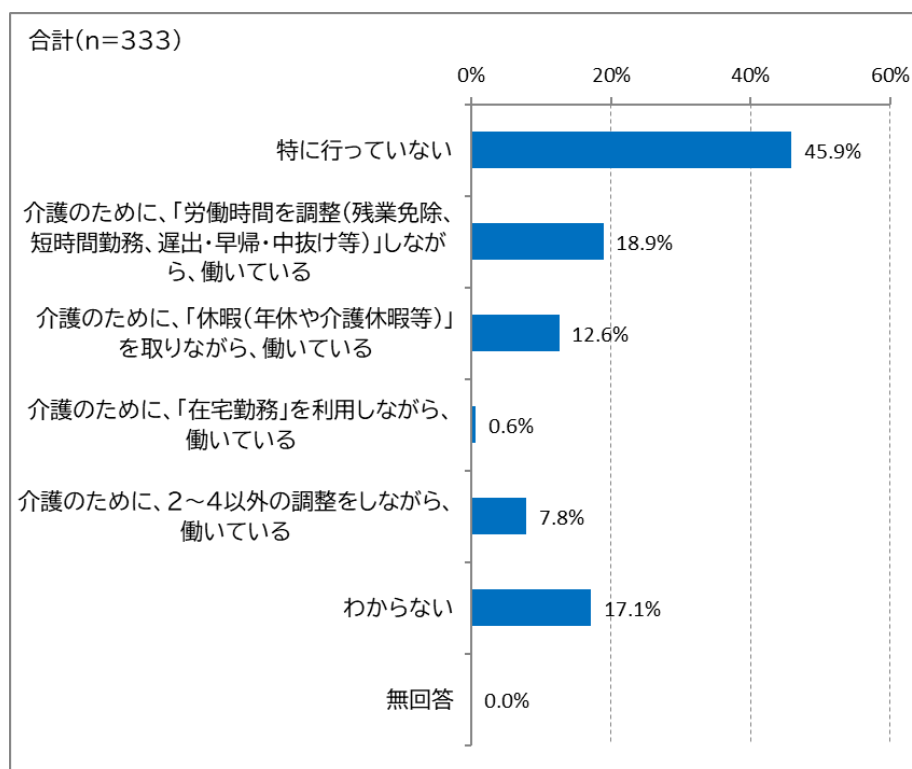
図表 2-1 主な介護者の勤務形態(単数回答)



(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況

「特に行っていない」の割合が最も高く 45.9%となっている。次いで、「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている(18.9%)」、「わからない(17.1%)」となっている。

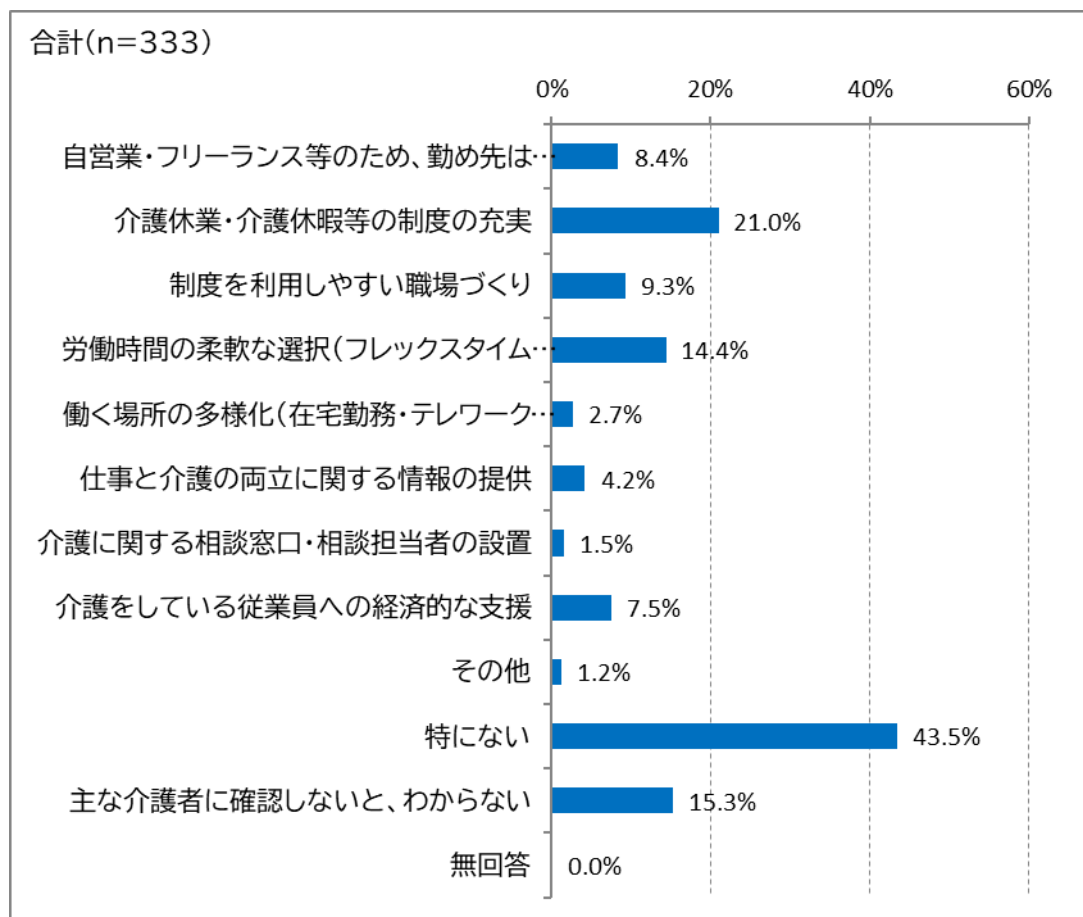
図表 2-2 主な介護者の働き方の調整状況(複数回答)



(3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援

「特になし」の割合が最も高く 43.5%となっている。次いで、「介護休業・介護休暇等の制度の充実(21.0%)」、「主な介護者に確認しないと、わからない(15.3%)」となっている。

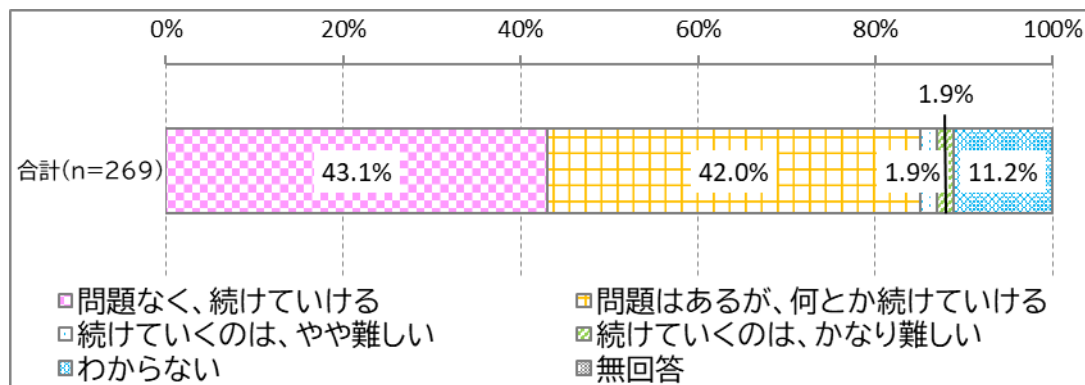
図表 2-3 ★就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援(複数回答)



(4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

「問題なく、続けていける」の割合が最も高く 43.1%となっている。次いで、「問題はあるが、何とか続けていける(42.0%)」、「わからない(11.2%)」となっている。

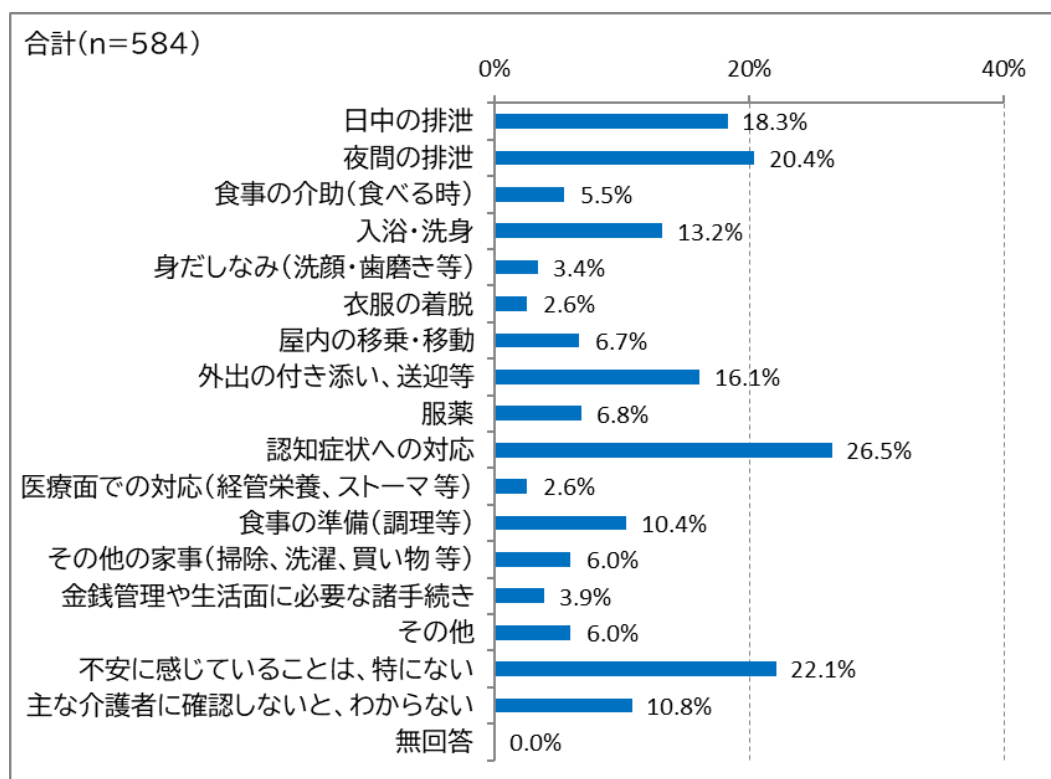
図表 2-4 主な介護者の就労継続の可否に係る意識(単数回答)



(5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

「認知症状への対応」の割合が最も高く 26.5%となっている。次いで、「不安に感じていることは、特にない(22.1%)」、「夜間の排泄(20.4%)」となっている。

図表 2-5 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護(複数回答)

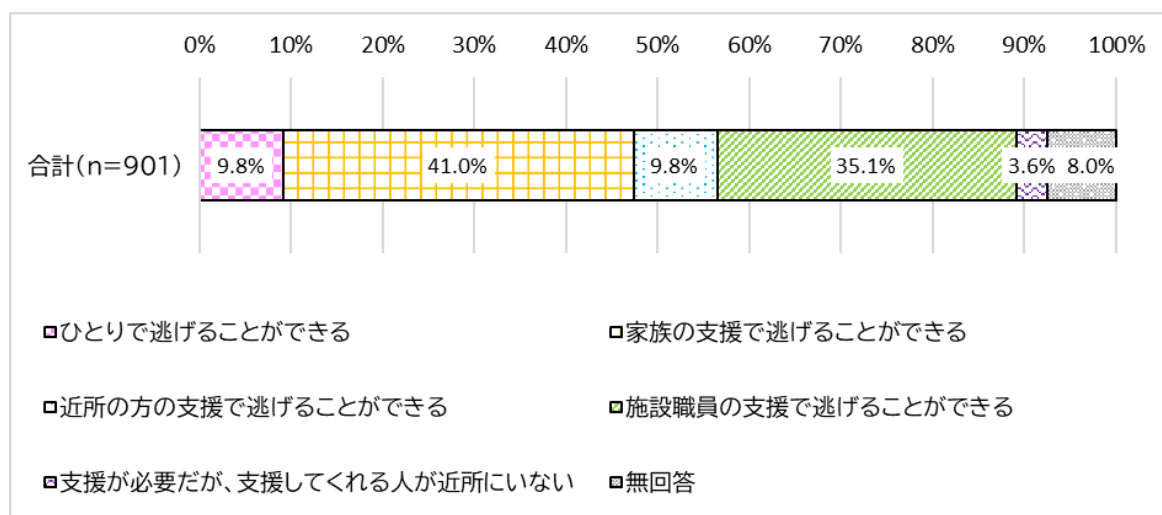


3 災害時や情報収集に関する質問項目(C 票)

(1) 火災等が起きた場合、どのように避難しますか

「家族の支援で逃げることができる」の割合が最も高く 41.0%となっている。次いで、「施設職員の支援で逃げることができる(35.1%)」、「ひとりで逃げることができる(9.8%)」、「近所の方の支援で逃げることができる(9.8%)」となっている。

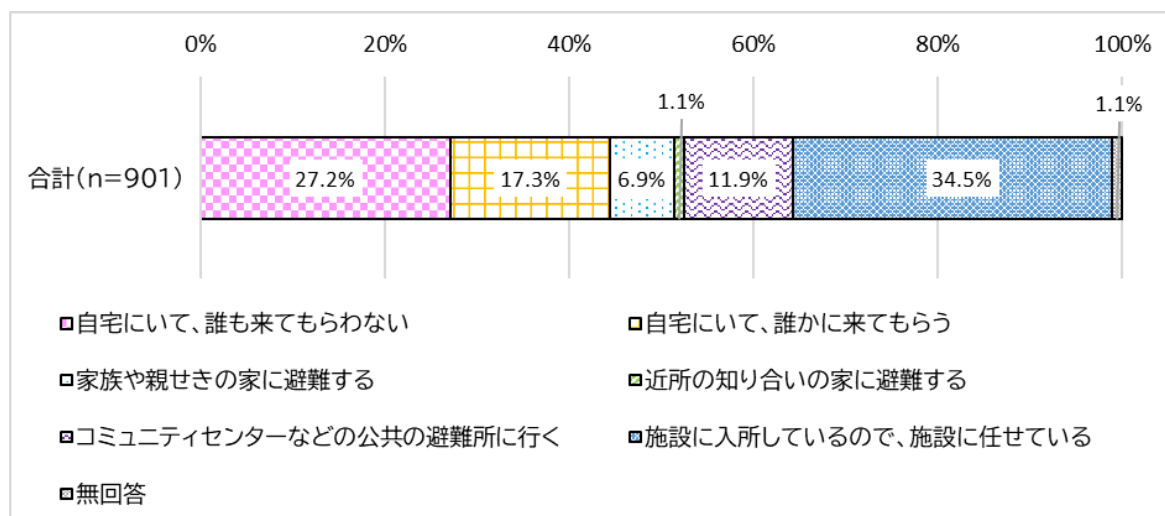
図表3-1 避難の方法(単数回答)



(2) 台風が近づいてきた場合、どのように対応しますか

「施設に入所しているので、施設に任せている」の割合が最も高く 34.5%となっている。次いで、「自宅にいて、誰もきてもらわない(27.2%)」、「自宅にいて、誰かにきてもらう(17.3%)」となっている。

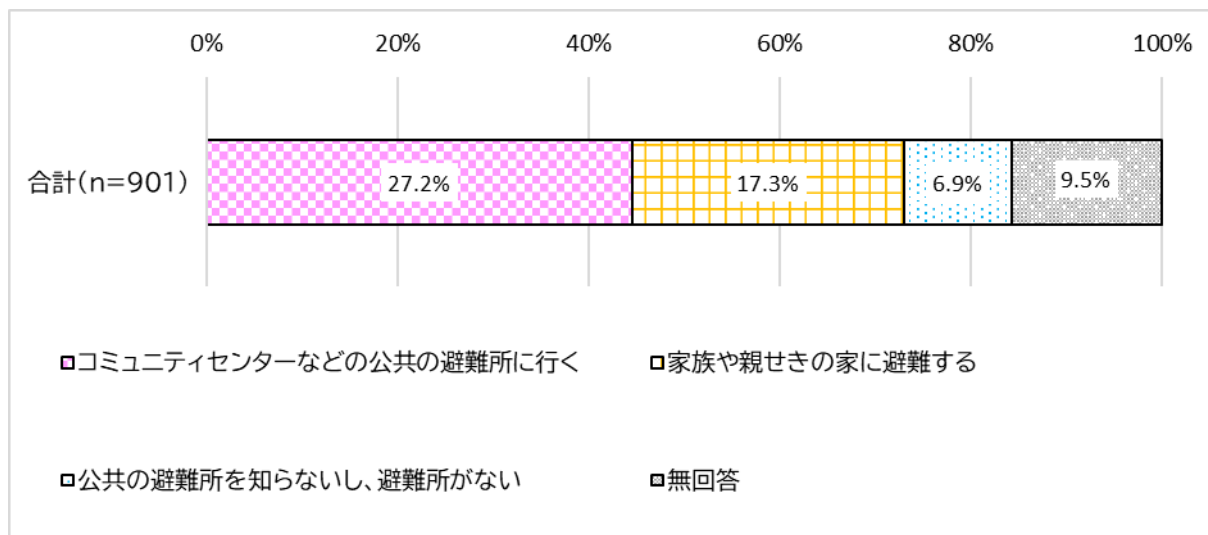
図表3-2 台風時の対応(単数回答)



(3) 台風などの災害で、避難が必要な場合どこに避難しますか

「コミュニティセンターなどの公共の避難所に行く」の割合が最も高く 27.2%となっている。次いで、「家族や親戚の家に避難する(6.9%)」となっている。

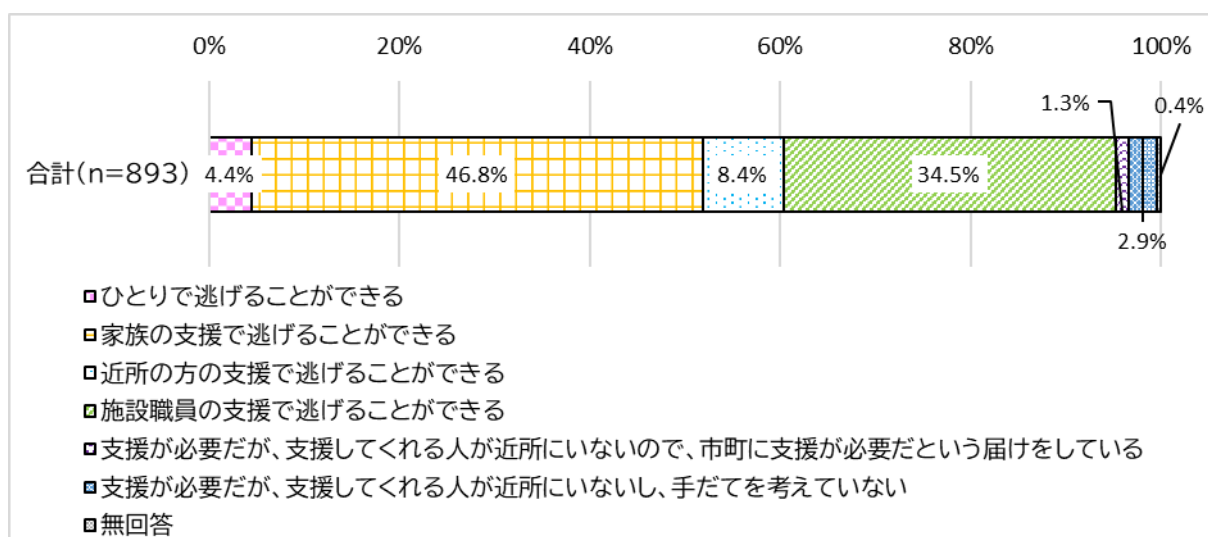
図表3-3 台風などの災害時の避難場所(単数回答)



(4) 台風などの災害で、避難が必要な場合どこに避難しますか

「家族の支援で逃げることができる」の割合が最も高く 46.8%となっている。次いで、「施設職員の支援で逃げることができる(34.5%)」、「近所の方の支援で逃げることができる(8.4%)」となっている。

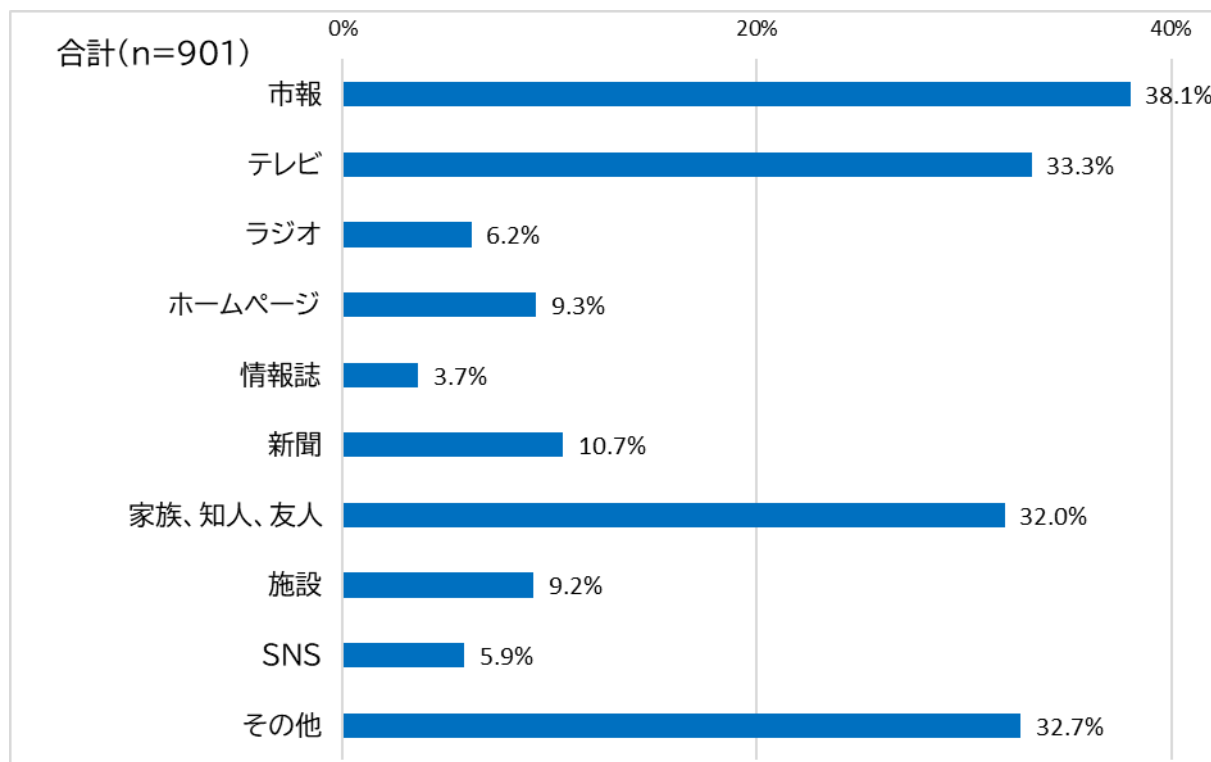
図表3-4 台風などの災害時の避難方法(単数回答)



(5) 市・町等の高齢者向けサービスの情報をどの方法で知りますか

「市報」の割合が最も高く 38.1%となっている。次いで、「テレビ(33.3%)」、「その他(32.7%)」となっている。

図表3-5 サービスの情報収集方法(複数回答)

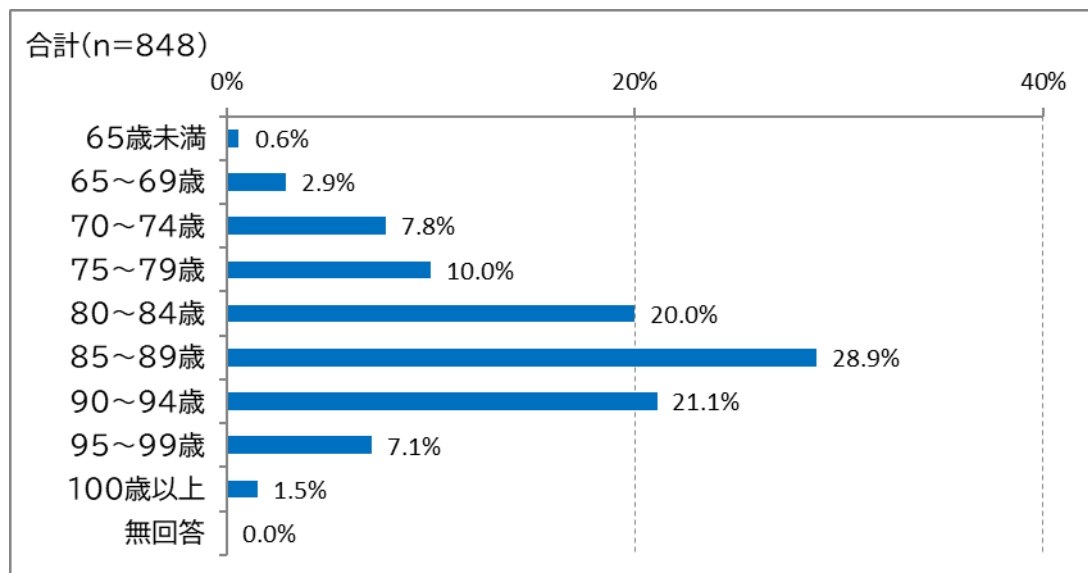


4 要介護認定データ

(1) 年齢

「85～89 歳」の割合が最も高く 28.9%となっている。次いで、「90～94 歳(21.1%)」、「80～84 歳(20.0%)」となっている。

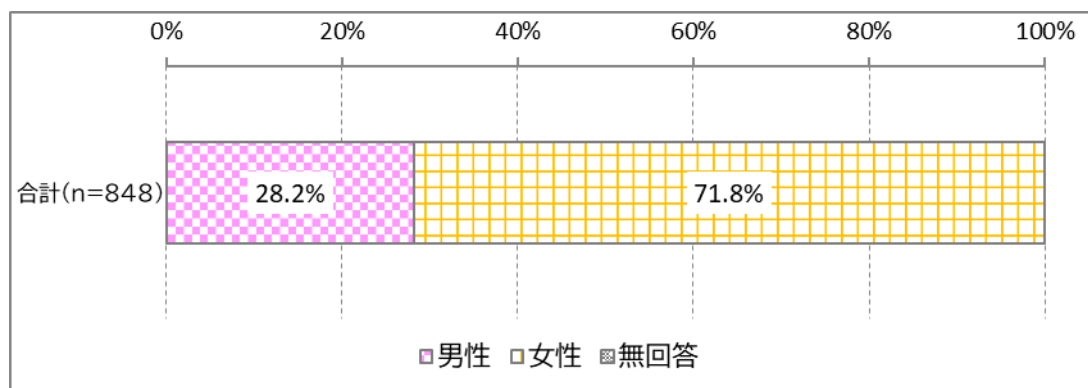
図表4-1 年齢



(2) 性別

「女性」の割合が最も高く 71.8%となっている。次いで、「男性(28.2%)」となっている。

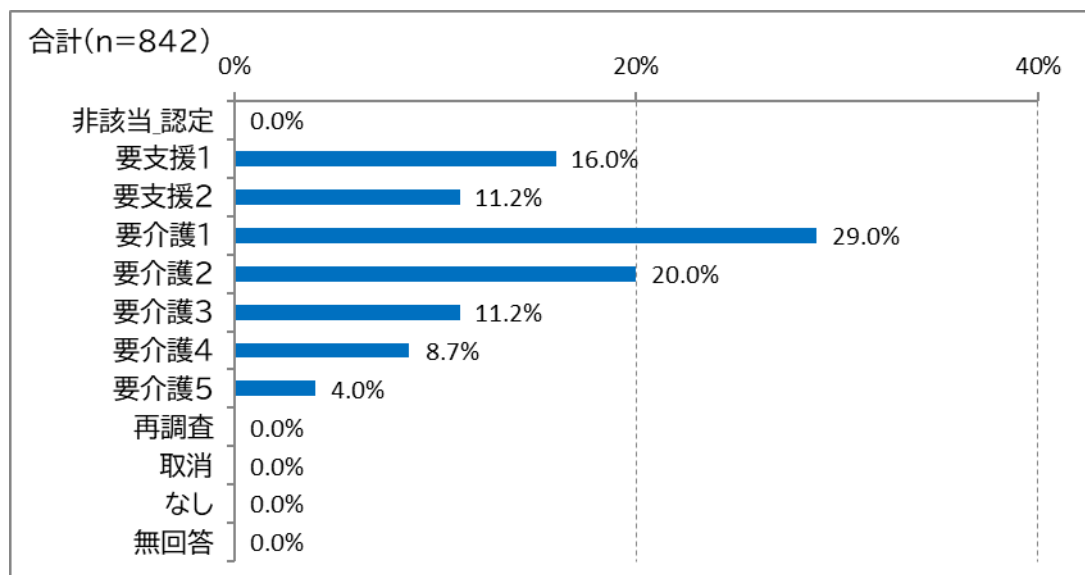
図表4-2 性別



(3) 二次判定結果(要介護度)

「要介護1」の割合が最も高く 29.0%となっている。次いで、「要介護2(20.0%)」、「要支援1(16.0%)」となっている。

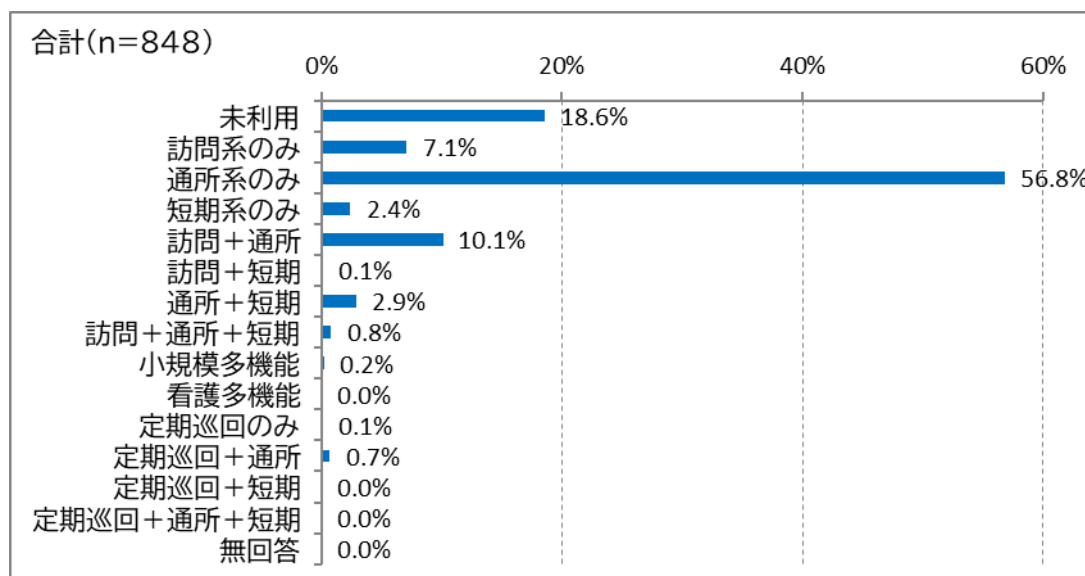
図表4-3 二次判定結果



(4) サービス利用の組み合わせ

「通所系のみ」の割合が最も高く 56.8%となっている。次いで、「未利用(18.6%)」、「訪問+通所(10.1%)」となっている。

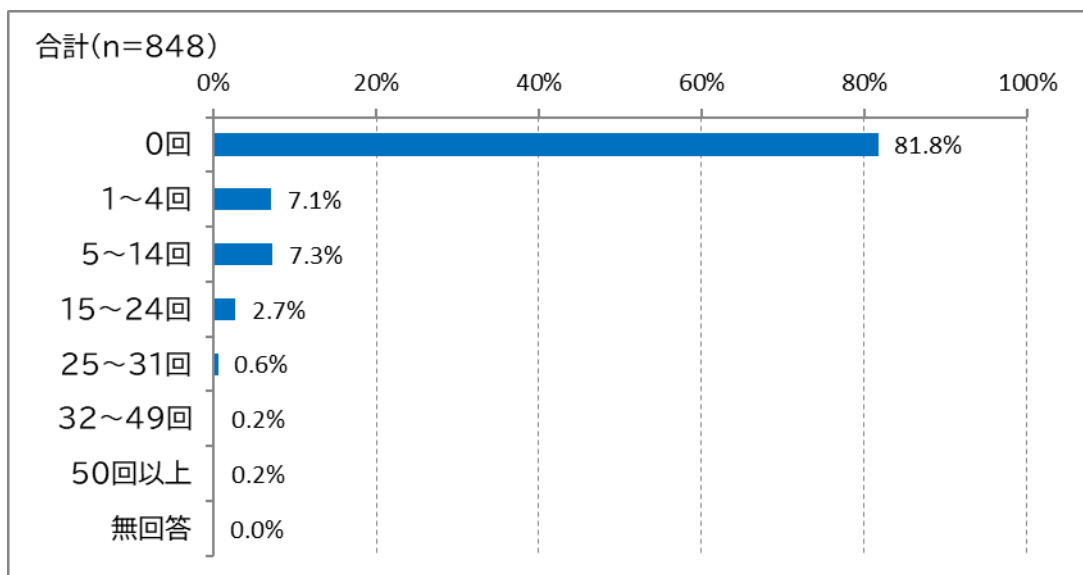
図表4-4 サービス利用の組み合わせ



(5) 訪問系サービスの合計利用回数

「0 回」の割合が最も高く 81.8%となっている。次いで、「5～14 回(7.3%)」、「1～4 回(7.1%)」となっている。

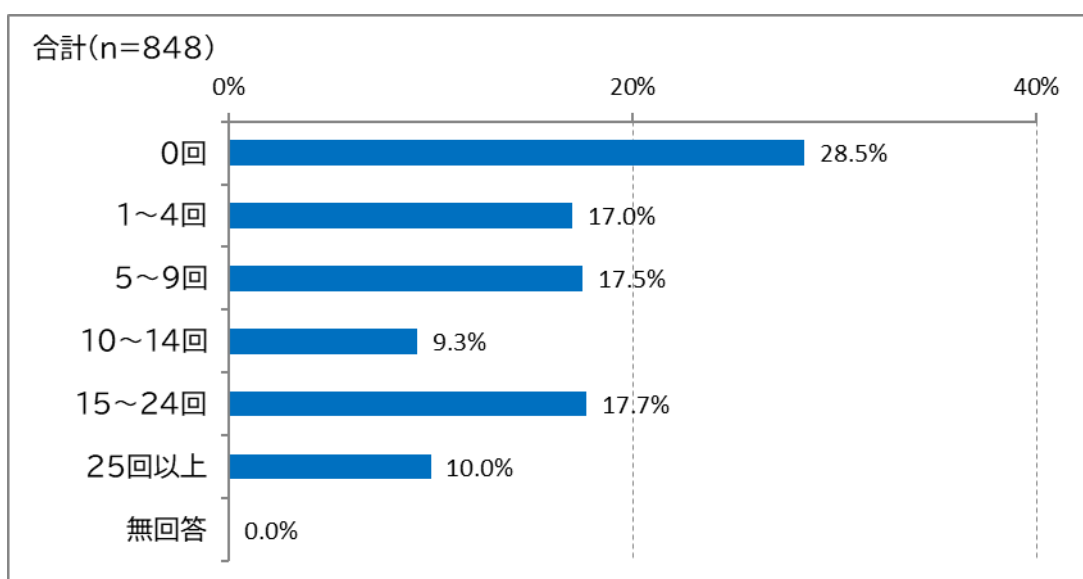
図表4-5 サービスの利用回数(訪問系)



(6) 通所系サービスの合計利用回数

「0 回」の割合が最も高く 28.5%となっている。次いで、「15～24 回(17.7%)」、「5～9 回(17.5%)」となっている。

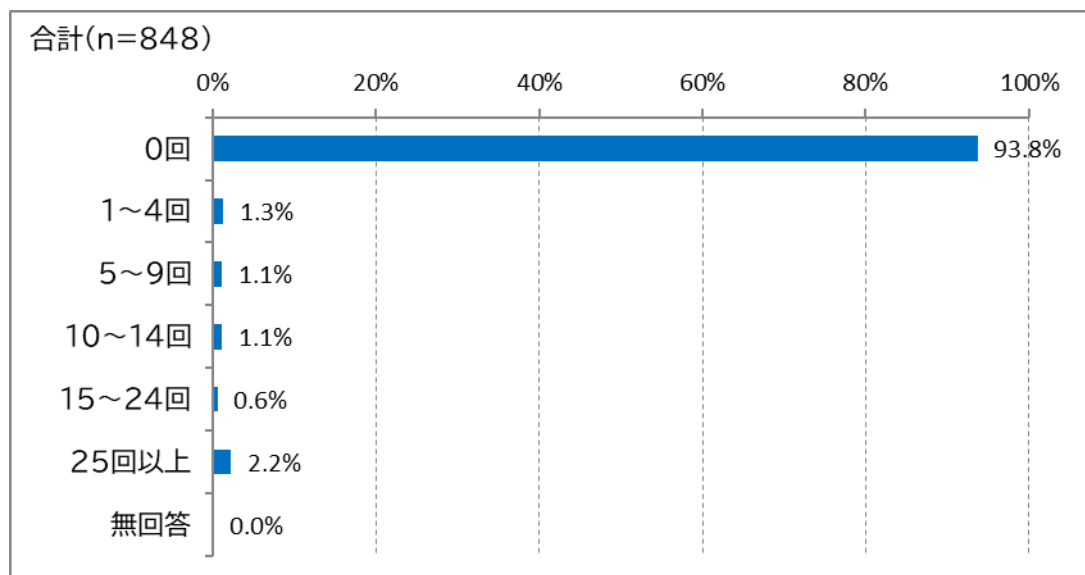
図表4-6 サービスの利用回数(通所系)



(7) 短期系サービスの合計利用回数

「0 回」の割合が最も高く 93.8%となっている。次いで、「25 回以上(2.2%)」、「1～4 回(1.3%)」となっている。

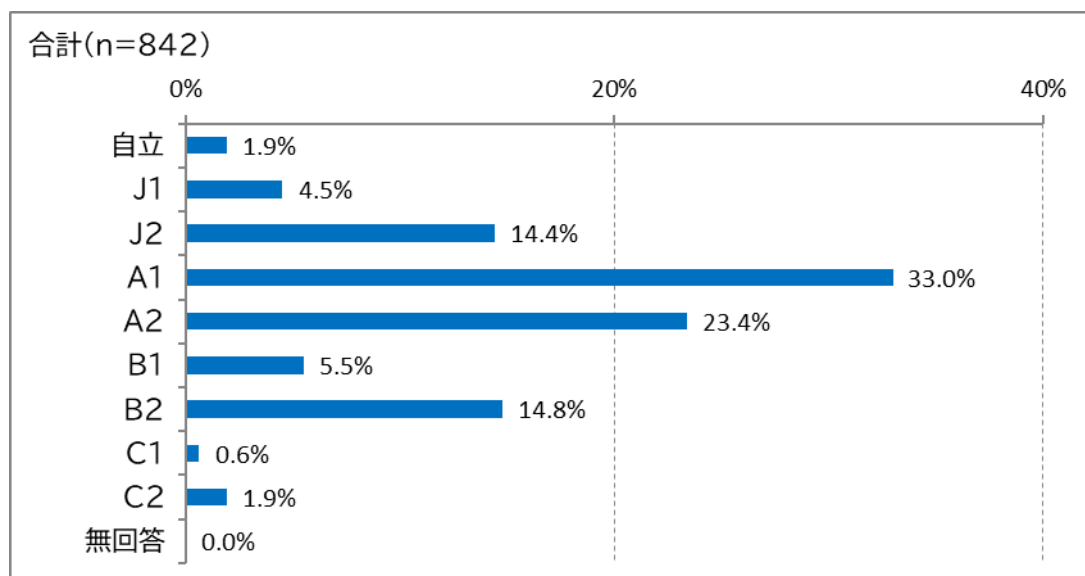
図表4-7 サービスの利用回数(短期系)



(8) 障害高齢者の日常生活自立度

「A1」の割合が最も高く 33.0%となっている。次いで、「A2(23.4%)」、「B2(14.8%)」となっている。

図表4-8 障害高齢者の日常生活自立度



(9) 認知症高齢者の日常生活自立度

「Ⅱb」の割合が最も高く 25.8%となっている。次いで、「自立(24.6%)」、「Ⅱa(22.0%)」となっている。

図表4-9 認知症高齢者の日常生活自立度

